

# 事務事業評価シート(平成23年度実績分)

## (1) 事務事業の名称・位置づけ【Plan1】

事務事業コード	事務事業名	担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当者係長名
71111	行政評価システム推進事業	まちづくり政策課	行財政改革係	一ノ瀬 元広	丸山 貴之
		一次評価年月日	平成 24 年 6 月 15 日	連絡先(内線)	2209
事務事業実施の根拠・位置づけ	予算における位置づけ (会計区分・事業コード・事業名)	会計区分		予算コード	事業名(歳出予算見積書)
		<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	0207	企画事務
	第五次総合計画前期基本計画の施策体系における位置づけ	章	(コード選択)	7章	効果的・効率的な行財政運営のまちづくり
		節	(コード選択)	1節	地方分権時代に対応した計画的な行財政運営の推進
		項[基本施策]	(コード選択)	1項	計画的な行政運営の推進
		目[主な施策]	(コード選択)	1目	計画的な行政運営の推進
関連する計画等への位置づけ	<input type="checkbox"/> 第五次行財政改革大綱	<input type="checkbox"/> 3ヶ年実施計画	<input type="checkbox"/> 主要業務報告	<input type="checkbox"/> その他	
事務期間	(開始) 23 年度 ~ (終了予定) 27 年度	<input type="checkbox"/> 開始時期不明	<input type="checkbox"/> 終期設定なし		

## (2) 事務事業の内容(目的と手段を把握します。【Plan2】

①対象(〜に対して)……この事務事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

町職員、町が行っている施策・事務事業、町民

②目的(意図)(〜という状態にするために)……この事務事業のサービスを提供することによって対象をどういう状態にしたいのですか。

仕事に対する計画と実行、評価と改善のサイクルを職員に定着を図る。事務事業評価を適正に行い、公表することにより、住民に対して行政の透明性と住民との情報に共有化を図る。

③手段(事業内容)(〜を行う)……上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、事業の実施内容(サービスの概要)を記入します。

- 事務事業評価シート・補助金シートの作成
- 行政評価研究会・施策評価研究会の開催
- 事務事業評価シート・補助金シートをホームページへの掲載
- 

## (3) 活動指標の設定と推移……(2)の③サービスの概要(手段)の指標を表します。【Do1】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度	
		22年度	23年度	27年度(見込み)	達成率	27年度(見込み)	年度(見込み)
①	指標名	事務事業評価シートの作成	156	188	192	0.98	192
	説明	各係作成の事務事業評価シート	目標値設定の根拠 事務事業について実施				
②	指標名	補助金シートの作成	43	42	42	1.00	42
	説明	各係作成の補助金評価シート	目標値設定の根拠 補助金事業について実施				

## (4) 成果指標の設定と推移……(2)の②目標(意図)の達成度を指標で表します。【Do2】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度	
		22年度	23年度	27年度(見込み)	達成率	27年度(見込み)	年度(見込み)
①	指標名	評価結果の公表事務事業数(事務事業評価数)	156	188	192	0.98	192
	説明	ホームページ等への評価結果の公表数	目標値設定の根拠 評価実施事務事業数				
②	指標名	評価結果の公表事務事業数(補助金評価数)	43	42	42	1.00	42
	説明	ホームページ等への評価結果の公表数	目標値設定の根拠 評価実施補助金数				

## (5) 総事業費(コスト)の推移【Do3】

※事業費の算定方法  決算書・予算書等に記載の数字  按分計算による算定

○総事業費(コスト概算) =①+②	(千円)	2,740	2,819	2,890				
対前年比	%		102.9	102.5				
A)その他の財源(国庫支出金・県支出金・地方債・分担金・使用料・雑収入など)								
B)一般財源(税金)		2,740	2,819	2,890				
①事業費	(千円)	200	200	300				
対前年比	%		100	150				
②人件費の概算	(千円)	2,540	2,619	2,590				
対前年比	%		103.1	98.9				
	課長	課長補佐	係長	一般職員	延べ人数	年間人件費	年間人件費	年間人件費
	H22 H23 H24	H22 H23 H24	H22 H23 H24	H22 H23 H24	H22 H23 H24			
町職員(正規職員)	0.02 0.02 0.02	0.01 0.04 0.04	0.25 0.23 0.23	0.02 0.04 0.04	0.30 0.33 0.33	2,540	2,619	2,590
臨時職員	人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算式)シート					0	0	0

指標化



(6) 項目別評価 [Check]

視点	項目別評価	判定	評価結果
必要性	1. 事業のニーズに変化はありますか	A	A 増加傾向にある B 変化していない C 減少傾向にある D かなり減少している
	2. 町(行政)が関与する必要性がありますか	A	A 町が主体となる必要がある B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要 C 町も関与するが関与の度合いを縮小できる D 町の関与のあり方を再検討する
目的妥当性	3. 対象の設定は妥当ですか	A	A 対象は現在の設定が妥当である Bの場合その具体的な内容をお書きください B 対象の変更の余地がある
	4. 目的(意図)の設定は妥当ですか	A	A 目的(意図)は明確で上位の施策に合致している Bの場合その具体的な内容をお書きください B 目的(意図)は上位の施策に合致していない点がある
有効性	5. 期待された成果は得られましたか(成果指標の目標値への達成度)	B	A 期待したとおりの成果があった C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 概ね期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった D 成果が少なく今後も向上する見込みがない
	6. 連携可能な事務事業はありますか(町以外の取り組みも含めて)	B	A すでに実施している A・Bの場合その具体的な内容をお書きください B 今後は可能性がある C 今後も可能性はない 第五次総合計画の進行管理、評価結果を予算に反映、異動時の事務の引継ぎに活用
効率性	7. 成果を下げずにコスト(事業費・人件費)を削減できますか	B	A 余地なし C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面は余地なし C 一部余地あり D かなり余地あり
公平性	8. 受益者負担は適切ですか	B	A 検討の余地なし C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面検討の余地なし C 一部検討の余地あり D かなり検討の余地あり
その他	9. 現在の事業内容(サービス)に対して、対象の声やニーズを把握していますか	A	A アンケートなど具体的な方法で把握している A・Bの場合その具体的な把握方法を、Cの場合その理由をお書きください B 日常業務の中で把握している C 把握していない 事務事業評価シートをホームページ公表により意見の聴取

(7) 改革改善 [Action]

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。)  を一つチェックしてください。

- ア. 現状のまま継続する     イ. 見直しのうえで継続する     ウ. 終期設定     エ. 廃止     オ. 休止

〈今後の展開方針〉(イを選択した場合のみ を一つチェックしてください)

- a 重点化する(コストを集中的に投入する等)  
 b やり方を改善する(実施主体や実施の手段を変える)  
 c 効率化を図る(コストを下げる)  
 d 縮小する(簡素化する)  
 e その他(別事務事業に統合する等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度)

事業改善の経過

(前年度で記入した事業の方向性の具体化内容についての評価やこれまでに事業改善をした経過を記入します。)

平成20年度評価から、補助金評価シートを実施。平成22年度評価から、引継ぎの資料として活用。平成23年度評価からシート表を改定した。

事業の方向性の具体化

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)

第五次総合計画に政策目的体系「政策」、「施策」、「事務事業」の内、「事務事業」評価としての進行管理に合わせて対応する。  
 24年度施策評価について、システムの研究専門部会を開催し構築を図る。

24年度予算見積書への反映  あり  なし

〔反映内容〕

行政評価システム構築委託料(町民コンサル業務委託料)

(8) 所屬長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)

行政評価システムについては、事務事業の評価に加え24年度は施策評価の構築に向け準備をします。(行政評価システムの完結)

上位の施策の推進に貢献していますか。  をチェック

- A. 貢献度 大     D. 上位施策なし  
 B. 貢献度 中  
 C. 貢献度 小

(今後の方向性  を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持     イ. 見直しのうえで継続する     ウ. 終期設定     エ. 廃止     オ. 休止



b 上記 a~e を選択